

八勢眼鏡橋に地域住民ら約30人が参加して行われた



林田能寛の遺徳をしのぶ

林田能寛祭

4月5日、林田能寛顕彰会(福味御総一郎会長)主催により、上野地区の八勢眼鏡橋で26回目の林田能寛祭が開かれました。これは、私財を投じて八勢眼鏡橋を完成させた、能寛の偉業を後世に語り継ぐことを目的に開催され、林田家墓地がある妙暁寺(滝川)の墓前で供養後、八勢眼鏡橋に会場を移し神事が執り行われました。神事後、町郷土史家の奥田盛人さん(七滝)による林田能寛の講話があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

かぶと

兜をかぶってお出迎え

ゴールデンウィーク化石教室

5月5日の子どもの日に、県内外から158人が参加した化石教室が開催されました。先着50組の定員を上回る申し込みがあった人気の教室は、午前中に化石ひろば(田代)で化石を採集し、午後からは恐竜博物館で化石のクリーニング体験や、採集した化石の鑑定など、参加者は楽しい一日を過ごしていました。



兜と鯉のぼりで来館者を出迎えたティラノサウルス

長年続く御船の伝統

春の種いも市

毎年4月1日から30日まで5日おきに開催されている、御船に約370年続く伝統の種いも市。毎年、多くの人々が上質で種類も豊富な種いもを求めて訪れています。しかし最近は、高齢化などが原因で出店農家が減少してきています。伝統の種いも市を応援しようと4月15日、今年も15台のハーレーと約30台の発動機がお祭り広場に登場し、来場者を出迎えました。

昔懐かし発動機の音と、ハーレーの轟音に呼び寄せられるように多くの人でにぎわっていました。



今年も種いもを求めて多くの人があつまった

化石のクリーニングに真剣な表情の参加者



この日は、恐竜博物館前のティラノサウルスもゴールデンウィーク限定で、「かぶと」をかぶり、鯉のぼりを持って来館者を出迎えていました。また、化石教室にあわせて、町外からの来館者をもてなすため、恐竜の郷プロジェクト有志による恐竜消しゴム作りや化石レプリカ作りも行われ、一日博物館はにぎわっていました。

みんなでつくりあげた「赤ずきん」

第19回御船町子ども英語劇場

4月28日、満員の観客で埋め尽くされたカルチャーセンターホールで、子ども英語劇場「赤ずきん」が上演されました。今回は、過去最多の町内小中学生51人が参加し、ボランティア協力者とあわせて総勢80人で本番に向けて2カ月以上も前から取り組み、練習に励んできました。当日は、役ごとの衣装に身を包み、ユーモラスな歌や踊りありの楽しい雰囲気の中、一人一人が堂々と役を演じ切り、会場からは大きな拍手が送られていました。

今回で参加が2回目の野口莉那さん(滝尾)は「ドキドキして不安だったけど、ちゃんと演技ができたので嬉しかった。また来年参加したい」と話していました。大きな舞台で仲間と共にやり遂げた達成感は、子どもたちの自信につながったことでしょう。



楽しそうに演技するアライグマ役の子どもたち

ゴミ拾いをする御船中学生と御船高校生



ゴミのないきれいな御船川へ

御船川ボランティア清掃活動

4月29日、があーっぱ祭りの会場にもなっている御船川河川敷に地域住民、各種団体や企業、御船中学校、御船高校の生徒など約800人が集まり、妙見橋からメロディー橋までの区間のゴミ拾いが行われました。この日集められたゴミは2tダンプ6台分にもなり、なかには自転車や洗濯機の部品など大きなゴミも捨ててありました。この清掃は、今年で19回目の緑川流域一斉清掃にあわせて行われ、御船町のほかにも緑川・御船川に隣接した市町17会場でも同時に清掃活動が行われました。

新たな学校生活のスタート

町内小中学校で入学式

4月10日、町内の各小中学校で入学式が行われ、270人の新入生が、夢と希望を胸に新しい学校生活をスタートさせました。また、御船小学校では校舎の第二期工事が終了し、4月4日には同校交流ホールにて、落成式が行われました。



御船小学校入学式の様子

各学校の入学者数		御船中学校	134人
御船中学校	44人	滝尾小学校	14人
七滝中央小学校	8人	木倉小学校	20人
高木小学校	20人	小坂小学校	30人